

平成25年度第2回 会計学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

I. 日 時：平成26年2月22日（土）14：00～16：30

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：岸田委員長、金川委員、松本委員、阿部委員
（事務局）井端事務局長、森下職員、松本職員

IV. 資料

資料① 平成25年度 会計学教育FD/ICT活動研究委員会の活動計画

資料②. 1 会計学教育における教育改善モデルへのアンケート結果

資料③ 次回までの課題

参考1 「誰でも無料 ネット講義」（朝日新聞 記事）

参考2 「大学の卒業認定 厳しく」（日本経済新聞 記事）

参考3 「高等学校教育と大学教育との接続・大学入学者選抜の在り方について（第四次提言）」（教育再生実行会議）

参考4 「教授会の権限。4項目に」（日本経済新聞 記事）

参考5 「授業に「タブレット革命」（日本経済新聞 記事）

参考6 FSP 実践講座の授業内容と運営の工夫

参考7 私立大学等改革総合支援事業 配点区分表

参考8 ムークと反転授業がもたらす学びの変革

参考9 「経営学分野の展望」（日本学術会議 経営学委員会 会計学分科会）

その他 平成25年度委員名簿、第2回委員会次第、第1回委員会議事概要

V. 議事内容

1. 教育改善モデルのアンケートの検討について

アンケート結果についてサイバー会員の各先生から指摘されている点に関して、精査および再検討を行ったが、特に個別的な意見から提言の変更は行わないこととした。

2. 会計学教育における教育改善モデルの提言について

提言を作成してからすでに時間が経過しており、国際会計や公会計等に関する認識や状況に変化が出てきていること、提言内容の実現可能性をより考慮した方がよいと判断したこと、またサイバー会員から指摘等も総合的に判断し、再度、提言内容の再考を行った。その結果、下記の点を変更することとなった。

- ・到達目標2の説明文に関して「財務会計では国際的な動向について、管理会計では多種多様な手法による会計情報が生成されることを理解させねばならない。その上で、」部分を削除する。
- ・到達目標2、【到達度】①について「原理」を「仕組み」に変更する。
- ・到達目標4、説明文「会計を担当する責任者としての職業倫理を涵養し、」を「会計担当者として」に変更する。
- ・到達目標4、コア・カリキュラムのイメージについて「公会計」を「公的組織の会計」に変更する。
- ・到達目標4、【到達度】④、「公会計、環境会計、国際会計、税務会計の特徴や内容、構造を

説明できる。」を「企業会計を踏まえて公的組織など、各種領域の会計の概要を説明できる。」に変更する。

- ・到達目標 4、【到達度】⑤、「国際財務報告基準（IFRS）が企業経営や会計情報に与える影響について説明できる。」を「会計基準が企業経営に与える影響について説明できる。」に変更する。

3. 今後の取り組みについて

価値観が多様化する現代社会において、会計学に対する期待もこれまでとは異なってきている。そのような状況の中で、大学教育はどのように行うべきか、到達目標はどのように設定すべきか、問題提起がなされた。今後は、例えば経営に役立つ会計とはどのようなものか、組織を成長させる会計とはどのようなものか等、会計の新たな可能性を探るとともに、それをアクティブラーニングにどのように取り入れるか、次年度2回の委員会で検討を行うこととなった。さらにその成果を2014年12月頃に研究集会を実施し、発表・意見交換を行うことが提案された。上記を行うにあたり、科研費の申請についても検討することとなった。

4. 次回の予定

下記の日時を候補日として調整することとなった。

第1候補 5月24日（土） 14:00 から

第2候補 6月7日（土） 14:00 から

以上